



【海の状況 (4/16~5/15)】

- ・小川地先の表面水温… 期間を通して平年並み(平年差±0.5℃)から平年よりはなはだ高め(平年差1.5~℃)で推移した。(図1)
※平年は、神子地先の過去30年平均
- ・米ノ地先の表面水温… 期間を通して平年並み(平年差±0.5℃)から平年よりやや高め(平年差0.5~1.0℃)で推移した。(図2)

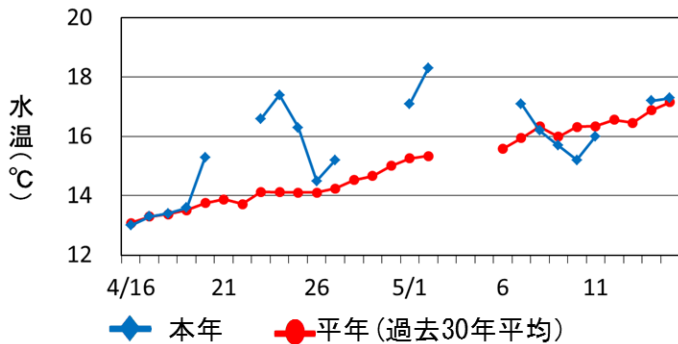


図1. 若狭町小川地先における表面水温の推移

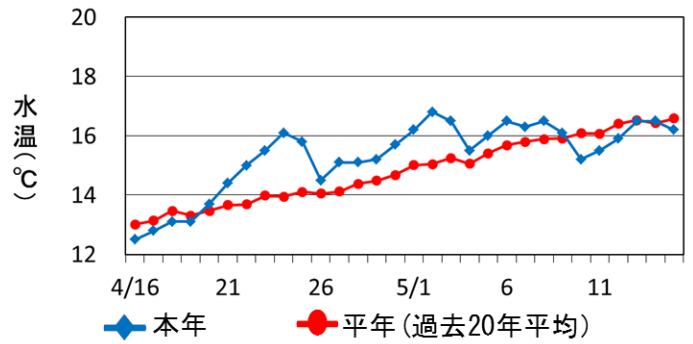


図2. 越前町米ノ地先における表面水温の推移

【若狭湾および周辺海域の海況：4月】

4月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(0m)では若狭湾の一部で14~16℃と水温が高くなっていた。しかし、水深50mでは10~12℃と前年より低くなっていた。水深100mでは山陰・若狭沖の冷水域の規模は昨年より大きく、接岸していた。(図3)

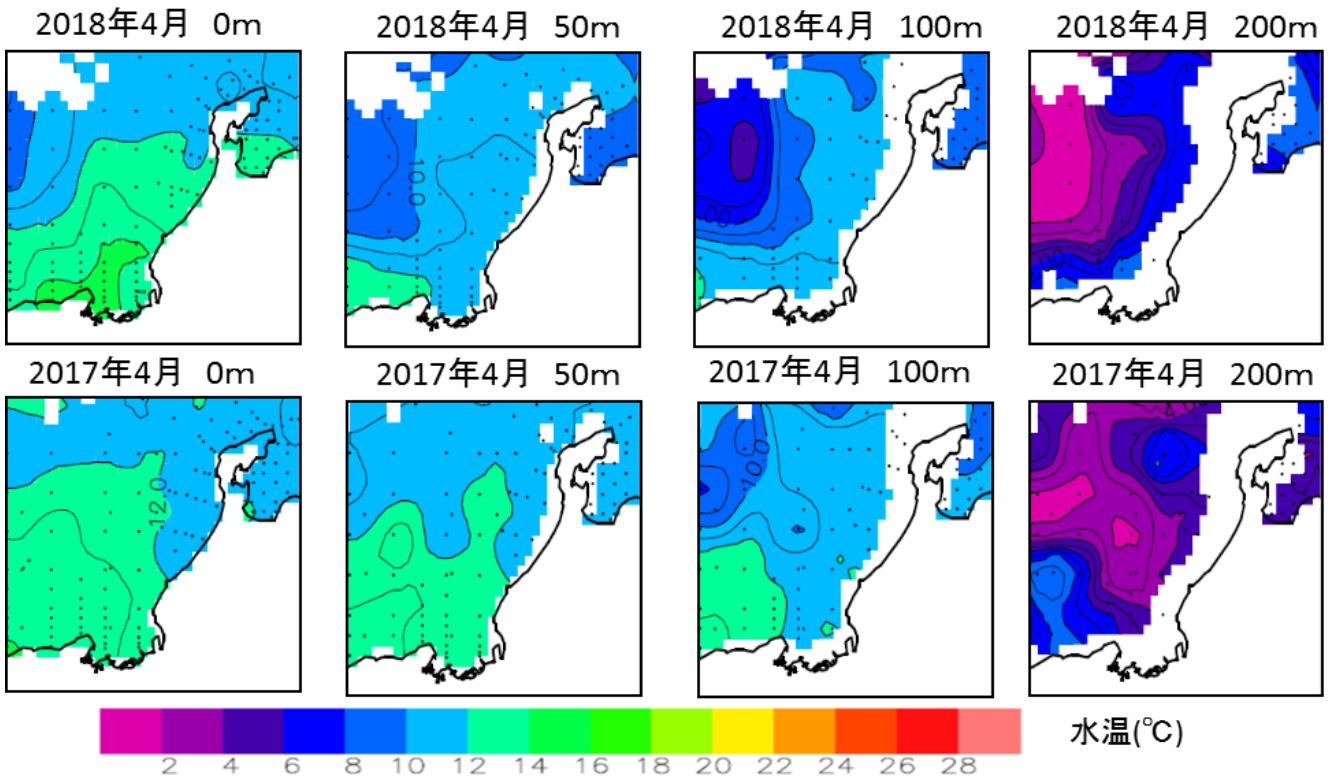


図3. 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

平成 30 年度 日本海マアジ長期漁況予報

水産研究・教育機構 日本海区水産研究所から日本海マアジ長期漁況予報が発表されましたので、その概要をご紹介します。

- ・0 歳魚(2018 年級群)の来遊量は前年(2017 年 5～9 月)並みから下回る。
- ・1 歳魚(2017 年級群)の来遊量は前年並み。
- ・2 歳魚(2016 年級群)の来遊量は前年を上回る。
- ・1 歳魚が主体で、夏以降に 0 歳魚の割合が増加する。

この予報は日本海区水産研究所ホームページ(<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/index.html>)からも閲覧できます。
(漁場環境グループ 山下 慎也)

〔県内の漁模様：4 月〕

2018 年 4 月の県内の総漁獲量は 842t で、昨年同月と比べて 241t 下回った。

〔定置網〕

漁獲量は 223t で、昨年同月と比べて 383t 下回った。マイワシ、アジ類、フグ類等は上回り、ブリ類、サワラ、スルメイカ等は下回った。

〔底びき網〕

漁獲量は 504t で、昨年同月と比べて 134t 上回った。フグ類、ホタルイカ、アカエビ等は上回り、スズキ、アカガレイ、その他カレイは下回った。

〔釣り・その他〕

漁獲量は 115t で、昨年同月と比べて 8t 上回った。サワラ、アナゴ、ヤリイカ等は上回り、ワラサ、スルメイカ、コウイカ等は下回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(4月)

定置網 (kg)						底びき網の続き (kg)					
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差	魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
マイワシ	6,397	14	10,296	6,383	-3,899	ハタハタ	9,122	8,778	32,000	344	-22,879
カタクチイワシ	3,274	816	3,600	2,457	-327	メバル類	1,549	1,328	1,395	221	154
アジ類	40,805	11,153	53,308	29,653	-12,503	ホタルイカ	270,938	140,252	238,441	130,886	32,497
ブリ類	31,448	171,711	123,891	-140,263	-92,443	タコ類	3,438	2,877	5,166	561	-1,728
(ブリ)	16,706	166,659	21,300	-149,953	-4,594	アカエビ	52,818	33,419	34,644	19,399	18,174
(ワラサ)	14,387	4,836	18,479	9,551	-4,092	その他エビ	5,669	3,574	4,887	2,095	782
(ハマチ)	136	107	13,651	29	-13,515	その他	28,861	29,323	29,923	-462	-1,063
(ツバス)	203	108	70,461	95	-70,258	合 計	504,105	370,222	505,106	133,883	-1,001
(アオコ)	16	0	0	16	16	釣り、延縄、さし網、その他の漁法 (kg)					
サワラ	43,982	56,538	74,881	-12,556	-30,899	魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
サケ、マス	500	668	1,797	-168	-1,297	アジ類	3,123	239	598	2,884	2,524
マダイ	10,803	13,523	18,079	-2,720	-7,276	ブリ	1,319	2,549	1,193	-1,230	126
クロダイ	945	2,422	1,266	-1,477	-321	ワラサ	1,430	7,072	2,914	-5,642	-1,484
スズキ	4,442	7,553	13,216	-3,111	-8,774	サワラ	9,717	5,478	1,157	4,239	8,560
ヒラメ	652	789	1,418	-138	-767	マダイ	4,796	3,964	4,364	832	431
カマス	1,061	0	134	1,061	927	キダイ	2,457	1,642	2,192	814	264
フグ類	59,968	20,751	24,929	39,217	35,039	アマダイ	3,639	3,744	4,269	-104	-630
スルメイカ	460	35,018	13,139	-34,559	-12,680	ヒラメ	4,794	2,650	5,620	2,144	-826
ヤリイカ	1,621	251	3,311	1,371	-1,690	その他カレイ	11,846	8,624	12,876	3,222	-1,030
コウイカ	519	1,641	1,694	-1,122	-1,175	アナゴ	4,845	383	1,667	4,461	3,177
その他	16,001	282,843	54,514	-266,842	-38,513	サヨリ	2,872	1,142	5,630	1,729	-2,758
合 計	222,877	605,693	399,475	-382,815	-176,597	メバル類	6,932	3,484	11,280	3,448	-4,348
底びき網 (kg)						スルメイカ	941	5,131	23,483	-4,190	-22,542
魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差	ヤリイカ	5,274	79	3,174	5,195	2,099
マダイ	4,502	1,491	2,350	3,011	2,152	コウイカ	1,252	2,838	2,750	-1,586	-1,498
キダイ	6,677	2,498	2,754	4,179	3,923	タコ類	9,194	8,401	10,630	793	-1,436
スズキ	1,395	2,506	2,515	-1,111	-1,119	その他	41,056	50,077	70,720	-9,021	-29,664
ヒラメ	7,824	2,414	3,132	5,409	4,691	合 計	115,485	107,496	164,518	7,989	-49,033
アカガレイ	59,907	87,087	101,230	-27,180	-41,323	全漁法 (kg)					
その他カレイ	32,245	50,418	41,067	-18,173	-8,822	魚種名	2018年	2017年	平年	前年差	平年差
フグ類	16,064	2,631	3,003	13,433	13,061	合 計	842,467	1,083,411	1,069,099	-240,944	-226,631
アナゴ	3,097	1,626	2,598	1,471	499	※1 平年の値は2008-2017年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。					

※1 平年の値は2008-2017年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。
※3 数値は小数点以下を四捨五入しています。

〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：4月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：4月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：4月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：4月中旬～5月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。)

石川県…定置網…マイワシ 120.8t、ブリ 2.4t、フグ類 1.6t、マアジ 1.2t、カタクチイワシ 1.1t、サバ類 1.0t

京都府…定置網…マイワシ 8.3t、カタクチイワシ 6.7t、サワラ類 2.2t、マアジ 0.7t、ブリ 0.5t

兵庫県…定置網…マアジ 367kg、ハマチ(1.5～3kgのブリ) 50kg、マサバ 39kg、マルゴ(3～5kgのブリ) 25kg、スズキ 17kg

鳥取県…まき網…マサバ 81.0t、マイワシ 27.2t、マアジ 22.2t、ブリ類 4.0t、カタクチイワシ 0.3t、ウルメイワシ 0.2t

(漁場環境グループ 山下 慎也)